

様式第1号

会 議 録

会議の名称		令和3年度第1回自転車のまちつくば推進委員会		
開催日時		令和3年(2021年)8月24日 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市役所 本庁舎5階 501 会議室 (※原則オンライン開催)		
事務局(担当課)		都市計画部総合交通政策課サイクルコミュニティ推進室		
出席者	委員	池田委員、井上委員、岩切委員、海老原委員、小林委員、佐藤委員、篠委員、竹前委員、丹委員(代理:蛭原氏)、藤澤委員、松橋委員、渡委員、永田委員、松井委員、松橋委員、小室委員(代理:安曾次長)、野澤委員、中根委員、富田委員、谷内委員		
	その他	-		
	事務局	高橋室長、渡辺係長、藤代主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
非公開の場合はその理由		傍聴者数	1名	
議題		<p>○つくば市の自転車施策に関するあゆみ</p> <p>○(仮称)つくば市自転車活用推進計画策定の考え方</p> <p>○新計画に盛り込む重点施策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校を活用した自転車拠点整備</li> <li>・自転車通勤を推進する支援策</li> <li>・つくば市シェアサイクル実証実験事業</li> <li>・自転車ネットワーク計画</li> </ul>		
会議録署名人		—	確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会			
	2 市長挨拶			
	3 委員紹介			
	4 委員長選任			
	5 委員長挨拶			
	6 議事			
	(1) つくば市自転車施策に関するあゆみ			
	(2) (仮称)つくば市自転車活用推進計画策定の考え方			
	(3) 新計画に盛り込む重点施策			
	・廃校を活用した自転車拠点整備			
	・自転車通勤を推進する支援策			

## 様式第1号

	<ul style="list-style-type: none"><li>・つくば市シェアサイクル実証実験事業</li><li>・自転車ネットワーク計画</li></ul> <p>(4) 今後のスケジュール (案)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新計画策定に向けた委員会のスケジュールについて</li><li>・つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の改正予定について</li></ul> <p>7 その他</p> <p>8 閉会</p>
<p>&lt;市長挨拶&gt;</p> <p>前期委員の任期満了に伴い、本日付で新たに委員を委嘱した。前回から引き続き務めていただく委員に加え、新たに市民委員をはじめとして、健康増進やサイクルツーリズム、自転車の普及促進等のエキスパートの方々を迎えることができたので、今まで以上に多面的な議論が展開されることを期待する。</p> <p>また、つくば市では自転車の可能性を非常に大きなものと考えており、今年4月、自転車施策を担う部署としてサイクルコミュニティ推進室を設立した。自転車を活用することで二酸化炭素排出量の削減や渋滞の緩和、健康増進等の社会的問題解決につながると考えており、自転車の本質的な価値を探ってきたいと考えている。</p> <p>今回の計画策定の第1歩として、旧筑波東中学校における自転車拠点整備について議会でも議論している。以前からつくば市に自転車の拠点が無いことが話題に上がっており、その拠点を作ることができれば良いと考えている。約3年前に行った自転車のイベントで、本日も参加していただいている渡先生にも自転車の拠点の必要性についてご意見をいただいていた。</p> <p>つくば駅からりんりんロードへの道がわかりづらいと意見もあることから、ルートを作成した。今年の10月からはシェアサイクルを始める等様々な取り組みを考えており、自転車通勤もその1つの大きな柱になると考えている。</p> <p>そのような事業が上滑りしないよう、市民の足として、安全を重視しながら自転車を活用したいと考えていきたいと思っている。皆様からも忌憚のない意見をいただきたい。</p> <p>会議に毎回出席することはできないが、議事録はすべて目を通させていただくので、発言で気になること等があれば直接確認していきたいと思っている。積極的に発言いただければと思う。どんな計画ができるのか楽しみにしており、1人の自転車乗りとしてもとても期待している。よろしくお願いします。ありがとうございました。</p>	

<委員紹介>

委員名簿に基づき、委員紹介。

<委員長選任>

委員間の互選により、次のとおり委員長を選任。

・委員長：渡 和由委員

また、委員長の指名により、次の通り副委員長を選任。

・副委員長：松橋 啓介委員

<委員長挨拶>

先ほど市長からもお話があった通り、今回の委員会では、自転車の本質的な価値を探るという大きな目的を課されていると感じた。私もつくば市には昔から関わりがあり、高校を卒業して筑波大学に進学、修士課程までつくばで育ち、その後のつくば万博の会場計画にもかかわっていた。

つくばエクスプレスの計画が出る前はアメリカで2年程働いていたが、つくばに戻ってきて自転車に適しているとても良い街であると感じた。当時、「つくばスタイル」という雑誌にもかかわり、自転車のまちつくばについて発言をしたことも思い出す。

つくば市は他自治体に先駆けて自転車に関する行動計画を作成してきた。それからロードバイク、マウンテンバイク、ママチャリ等様々な人が自転車を利用し、すでに自転車文化がつくば市では育っていると感じている。

自転車の利用推進については、つくば市周辺でも先進的な取り組みが進んでいるので、つくば市としても自転車の委員会をきっかけにクリエイティブなまちを目指す手段として自転車を活用したい。

例えばアメリカのシリコンバレーでは、グーグル社で1,000を超えるいわゆる「ママチャリ」がビルに配置されていて、社員が自然環境を楽しみながら仕事をしている。そして自転車で街に出て路上で食事をしている。そのような自転車の使われ方に驚いた。

つくば市は資源がたくさんあるうえ、農村部も抱えていてサスティナブルな開発にも適しているまちだと考えており、日本のシリコンバレーのような役割も持っていると感じている。

その結果によるものかはわからないが、スーモの関東圏の住みたい自治体ランキング2021でつくば市は22位に入っている。住みたいまち(駅)ランキングではつくば駅が26位。東京の有名な街などを抜いて上位に入っている。その理由には自転車がかわるような要因が入っていることも確認した。このようなことからつくば市の魅力が急上昇していると感じている。

## 様式第1号

本委員会において自転車利用推進に良いアイデアや意見がもらえると考えている。よろしく願います。

<審議内容>○：委員 ●：事務局

- ・ (1) つくば市自転車施策に関するあゆみ
- ・ (2) (仮称) つくば市自転車活用推進計画策定の考え方

※ (1) 及び (2) は関連するため一括で説明

●事務局：つくば市自転車施策に関するあゆみ及び(仮称)つくば市自転車活用推進計画策定の考え方について説明

○委員：委員会の設置要項に「つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」第7条に基づき、自転車安全利用促進計画を策定するものとするという記載がある。この委員会の一つの目標として(仮称)つくば市自転車活用推進計画を作ることがあげられているが、この委員会の設置要項の根拠条例を読むと安全に主眼を置き、自転車の活用についてはあまり触れていないと感じている。既存の条例は残し、それに基づいた計画を作るという考え方で進むのか。

●事務局：つくば市自転車安全利用促進計画は本条例に基づき作られている。一方で2015年に本条例が策定され、その2年後に国の法律「自転車活用推進法」が施行され、その法律の中で各市町村が「自転車活用推進計画」を策定することを努力義務と位置付けている。今回は上位法に基づき、自転車活用推進計画を策定していくことになる。

自転車安全利用については、自転車推進と両立させなければならぬため、この条例をいかしつつ、上位法に基づき新たな計画を策定する。具体的には「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の中で「自転車安全利用促進計画」の策定が義務付けられているが、今回の条例改正に合わせて、その部分を削除することを検討している。

○委員：保護者の代表としては安全性を気にかけていきたいと考えているので、あくまでも安全は重視するという事で理解させていただく。

○委員長：今回の委員会のテーマは自転車の利用促進であるが、そのためには安全性という基盤が必要不可欠。

●事務局：安全と推進は自転車の2つのタイヤと同じであると考えており、どちらが欠けても前に進むことはできないと考えている。

○委員：様々な施策に取り組んでいるということだが、資料1-2を見る

と、情報提供の目標値が配布物の部数等になっていたり、アプリの開発は検討見送りとなったりしているが、今後はオンラインで情報発信をしていくべきであると考え。紙という物理的な媒体もちろん重要だが、インターネットから情報を得ることも多くなっている。オンラインでの情報提供は検討していないのか。

- 事務局：まず、チラシの配布部数を目標値に設定している点については、指標としてあまり望ましくないという認識を持っている。

情報提供に関して進めてきた主な施策として「つくばサイクリングガイド」と記載したが、Webと冊子版の運用となっており、オンラインでも運営されている。

今後、デザインの改定や市民が自転車をより楽しむことができる情報発信を検討している。新計画策定の際には名前が変更になる可能性もあるが、サイクリングガイドも施策の柱の1つとして進めていきたいと考えている。

- 委員：地図の情報等、日々変わっていく情報もあるので、オンラインでタイムリーな情報が発信される良い。現在はデジタルトランスフォーメーション(DX)の時代なので、「情報化」を考慮されたい。

- 委員長：つくば市はYou Tubeでも自転車に関する情報発信している。

- 事務局：「つくばサイクル」という名前で行くつくば市自転車施策に関する公式SNSを5月から始めている。Facebookをフォローしていただければと思う。動画コンテンツについてはYou Tubeでも発信している。

・ (3) 計画に盛り込む重点施策 廃校を活用した自転車拠点整備

- 事務局：廃校を活用した自転車拠点整備について説明

- 委員：土浦市が弱虫ペダルとコラボをしてスランプラリーをしていた。つくば市も土浦市を参考にスタンプラリーのようなことをするのが良いのでは。また、BMXのレーシングコースにストライダーのコースも併設するとよいと考える。ストライダーは2・3歳の子供用のペダルがない自転車。子供用なので大きなスペースを必要とせず、必ず家族が来るので、非常に盛り上がると思う。

- 事務局：弱虫ペダルのスランプラリーについては、土浦市ではなく、土浦駅を運営しているプレイアトレ(JR)が県の補助金をとって行った民間事業。つくば市の場合、連携協定を締結したのは「弱虫ペダルサイクリングチーム」との間であり、無料で同じものができるというものではないことを御理解いただきたい。

ストライダーについては、先進事例である秩父市の秩父滝沢サイクルパークで開催された BMX の大会の視察をした際にストライダー、通称ランバイクの大会も併設されていた。

小さい子どもは、初めから BMX ではなく、ランバイクからスタートすることが多いと考えている。ストライダーカップのようなものは、長きにわたって自転車を楽しんでもらえるような意識づくり、それに付随して親にも BMX を知ってもらおうといった狙いをもって施設整備ができた際には、開催を検討したい。

○委員：ぜひよろしくをお願いします。

○委員：廃校活用についての1つの目標に地域振興というものがあるので、ぜひ地元の方が計画に参画することも検討していただきたい。

また、BMX コースは 2023 年度の計画ということでお伺いしたが、現在つくば霞ヶ浦りんりんロードから旧筑波東中学校までは少し距離があり、アクセスがわかりづらいこともあることから、サイクリストで立ち寄りやすくなるように併せて整備していただきたい。

●事務局：まず、地元との連携については、貴重な意見に感謝したい。2021 年 7 月 3 日に地元説明会を実施し、参加者のほとんどの方に賛成のお声をいただいた。一部、反対ではないが、事業の進め方について疑問を呈される方がいらした。説明会参加者の全員が地域振興を実現したいと思っており、そのような方々と連携していくことが大切であると考えている。すでに北条地区の自転車が好きな人やまちづくり活動を行っている方々と意見交換をおこなうことが決まっている。そこで出た意見を可能な限り取り入れることで地元と連携していきたいと考えている。

もう 1 点、アクセスについては、旧筑波東中学校が距離は近いもののつくば霞ヶ浦りんりんロードからは見えづらい場所に位置している。今後の整備に当たって矢羽根等の路面サインや看板設置を実施したいと考えている。

○委員：よろしくをお願いします。

○委員：廃校を活用した自転車拠点整備について確認させていただく前に、茨城県の自転車施策の現状を説明させていただく。

今回つくば市が自転車活用推進計画の策定を目指すことを示さ

れたが、茨城県においても「いばらき自転車活用推進計画」が来年の3月で期間満了となることから、自転車活用推進計画の改訂作業を始めたところである。

県においては、別個計画である「サイクルツーリズム構想」も来年の3月に期間満了となることから併せて見直しを行っている。このような情報については、つくば市とも連絡を取り合い、連携しながら計画を策定できるとよい。

改訂の主な内容としては、今年の5月に新しく策定された国の「第2次自転車活用推進計画」の視点を県の計画においても盛り込むことである。盛り込む視点は大きく分けて2つ。「多様な自転車の開発、普及を国レベルで行うこと」と、「自転車損害賠償責任保険の加入促進」を進めることである。

「サイクルツーリズム構想」においては、つくば霞ヶ浦りんりんロードをはじめとした4つのモデルルート（※）を設定している。一番の核となるのがつくば霞ヶ浦りんりんロードになり、その成功体験を県内各地域に波及させていきたい。ぜひつくば市の計画策定に合わせてつくば霞ヶ浦りんりんロードがたくさんの人に利用してもらえるよう勧めていただきたい。

その中で、今回の整備計画については、県からも支援させていただく予定。つくば霞ヶ浦りんりんロードでは有人の休憩施設や修理施設がないということが課題となっているので、つくば市にそのような施設ができることは、つくば霞ヶ浦りんりんロードのさらなる魅力向上、誘客促進につながることから、支援させていただく。また、今回の整備においては「多様な自転車利用者」に向けた有効な施設として整備を進めていただけるとありがたい。

前回のつくば市の計画が安全利用促進計画という視点だったので前回の計画にはサイクルツーリズムのような視点は含まれていないようだが、今回、これをもとに新しい計画ではサイクルツーリズムも柱として位置づけられるのかを確認させていただきたい。

（※）つくば霞ヶ浦りんりんロード、奥久慈里山ヒルクライムルート、大洗・ひたち海浜シーサイドルート、鬼怒・小貝川リバーサイドルート。

- 事務局：つくば市では今年と来年の2年間をかけて新たな計画を策定する計画。本年度に国、2022年度に茨城県の計画が改訂され、それを踏まえた改訂という流れとなり、整合性がとれる。

茨城県が策定中の計画についてはもちろん我々もフォローさせ

ていただいて、その結果を踏まえてつくば市の計画策定を進めたい。

「多様な自転車開発」と「自転車損害賠償保険の加入促進」という視点の話があったが、現在つくば市では市民の自転車保険の加入を努力義務としていて、今後これを義務化したいと考えており、これは国の計画との整合性が取れていると考える。

つくば市で策定を目指す計画におけるサイクルツーリズムの位置づけについては、資料2に記載がある通り、「観光」という観点を柱のひとつとしていることから、サイクルツーリズムは新しい計画に位置付けたいと考えている。

○委員：レンタサイクル事業も施設整備計画に入っているが、茨城県でも「茨城県広域レンタサイクル」という事業を行っており、何らかの形で連携を図りたい。

その他に茨城県の計画の見直しを行っている中で、ツーリズムも大切だが、安全が最優先であることは議論されており、走行空間や安全教育、これは自転車に乗る人も自動車を運転している人も含めて大切であると考えている。

●事務局：茨城県広域レンタサイクルについてはつくば市としてもありがたい提案であり、具体的な相談をさせていただきたい。

・ (3) 計画に盛り込む重点施策 自転車通勤を推進する支援策

●事務局：自転車通勤を推進する支援策について説明

○委員：市内に勤めていたので、つくば市の自転車通勤に関する事情はよくわかっている。ぜひ自転車通勤を推進していただきたい。

自動車の駐車スペース数台分に何十台も自転車をとめることができるなど企業にもメリットがある。実際は、自転車を使うべきであることを雇用主があまり認識していない。例えば、通勤手当に関しては自動車で通勤する場合と同じ金額しか支給されない。東京へ行くとき、つくば駅まで行くとするとバスを使ってほしいと言われる。自転車で行っても駐輪場の料金は支給されない。

雇用主側が自転車を使うことに積極的ではない1つの理由として、事故が発生すると困るということがある。ヘルメットを着用する、保険に加入する等があるが、保険の費用を市が補助してくれるとありがたい。

また、自転車は天候に左右されやすく、毎日使えるものではない。万が一自転車が使えない場合の交通手段を提供してもらえる

と自転車に切り替えやすいと考える。

- 事務局：企業が自転車通勤を推進するに当たっては、企業側のメリットが必須であると考えている。参考資料4の7ページで国が推進する「自転車通勤推進企業宣言プロジェクト」を紹介している。これは一定の要件を満たすと「自転車通勤推進宣言企業」に認定されるものである。今回の自転車通勤アンケートを実施するに当たり、このプロジェクトに興味があるかという問いを設定し、10社程度が興味があると回答しており、市内の認定企業との連携や認定企業への支援には可能性があると考えている。

自転車通勤支援施策については、自転車通勤アンケートの分析結果を踏まえて検討したい。

また、自転車に乗ることができないときのバックアップについても、当室は総合交通政策課というつくバスというコミュニティバスを統括している部署の課内室になっていることから、総合的な目線で自転車のバックアップの検討を進めたいと考えており、委員会ではそのような意見もいただければと思う。

- 委員：自転車通勤については、自身が運営している自転車店のお客様からもたくさん質問や意見をいただく。自分がそのネットワークから意見を吸い上げてもいいのではと考えている。

16年間経営をやっていて、ダイエットの目的で自転車を始める人よりも通勤のために自転車を購入する人が多い印象だ。

- 事務局：そのような人の背中を施策で後押ししてあげることが重要だと考える。委員がお客さんから聞く意見はとても重要だと考えるので、積極的にフィードバックしていただきたい。

・ (3) 計画に盛り込む重点施策 つくば市シェアサイクル実証実験事業

- 事務局：つくば市シェアサイクル実証実験事業について説明

- 委員：実証実験ということだが、何を実験するのか、何ができれば成功なのかということを教えていただきたい。システムはすでに民間でやっているものも多いが、どういった方法でやるのか。

- 事務局：つくば市にシェアサイクルが適している土地であるかどうかを実証する意味合いがある。税金を投入して事業を行う以上はある程度の収支も求められることから、3年間実証実験を行い、あまりにも利用者が少ない場合は終了する可能性もある。

システムについては、特に目新しいものが入り入れられるわけ

ではない。事業の目標値については基本的に収支率で判断しようと考えているが、設定するに当たっても、シェアサイクル自体が東京23区や政令指定都市の中心の駅前等での実績が積み重ねられており、単純に比較することはできないと考える。

また、現在は新型コロナウイルス感染症の影響も受けていることが想定されるので、目標値については慎重に設定する必要がある。しかし、地方都市でも導入されている自治体もあるので、実績の情報収集しながら実証実験の継続、終了の判断基準を設けたい。

○委員：つくば市では、いきなり民間資本だけで事業を進めるということは難しいと思うので、3年間はつくば市もバックアップするのはよいこと。3年後を楽しみにしたい。

●事務局：補足であるが、委託事業者は入札により実施している。

○委員：シェアサイクルは予約できるようにしたほうがいい。普段からレンタサイクルを利用することがあるが、できる場合は必ず予約する。都心と違って、つくば市はそれぞれの施設が密集しているわけではない。ある程度の距離を走る必要が出てくる。そうなると一般的なシティーサイクルは走りづらく、レンタルする側も少しいい自転車に乗ってみたいという気持ちもあるので、クロスバイクのようなものがあると魅力になって借りる人が増えるかもしれない。

●事務局：今回受託した会社は残念ながら予約のシステムはない。しかし、アプリ上で、利用したいポートで自転車が何台利用できるか確認することができる。

クロスバイクの導入については、サイクルポートをつくば駅と研究学園駅の半径2キロメートル以内に設けることを予定しており、また、幅広い年齢層に利用していただくことを想定して一般的な自転車を設置する。

・ (3) 計画に盛り込む重点施策 自転車ネットワーク計画

●事務局：自転車ネットワーク計画について説明

○委員：自転車ネットワーク計画は計画という名前だが、新しく作る計画の中に含まれるものか。それとも新しい計画とは別に作成するものか。

●事務局：新しい計画の中に含まれるもので、新しい計画の一部と考えていただければ。

○委員：2015年に策定された自転車安全利用促進計画に記載のあるネット

ワークを今回見直すということか、それとは別にネットワーク計画を作成するのか教えていただきたい。

また、2015年に作成された地図を見ると通学自転車、中学校の周辺ということも重視して概念図が作成されていると思うが、最近も八街市で通学路に関係する悲惨な事故もあったことを踏まえると、通学は重視したほうが良いと思う。今回新たに作られる計画で、通学路あるいは学校との連携はどのように考えているのか。

- 事務局：まず、2015年に策定したつくば市自転車安全利用促進計画の中における自転車ネットワーク計画については、あくまでもイメージ図として示したものとなっている。さらに国のガイドラインに準拠した形になっていなかった。本来自転車ネットワークに位置付けた整備事業は、国の補助金をもらえるが、2015年の自転車ネットワーク計画はそれに基づいてもいない。

今回は新たに国のガイドラインに準拠したものを作る。通学自転車に関しては、安全が非常に重要な点になると考える。学校との連携という点としては、つくば市PTA連絡協議会から委員に就任いただいている。

自転車ネットワークへの矢羽根等の整備事業はジレンマ的な部分もあり、通学路に矢羽根を書くことにより、サイクリストを誘導しかねないということもある。安全担保のために何が必要かということもこの委員会で御意見いただきながら決めていきたいと考える。

- 委員：現在表示されている(資料3-5)青いラインで表示されている学園東大通り、学園西大通り等については整備のイメージにあるように自転車道、自転車レーンを整備するという考えか。

- 事務局：青く示されているのは、現在茨城県で定めている「いばらき自転車ネットワーク」指定路線であり、その計画の中では整備形態は「車道混在」となっており、矢羽根等の路面表示を行う計画となっている。

- 委員：幹線道路で自転車レーンを整備していただければとてもありがたい。つくば駅周辺には自転車専用通行帯がすでに整備されており、とても走りやすくなった。

現状では東西大通りや牛久学園線、土浦学園線は自転車では走らない。とても危険だと感じる。車道は走れない上、歩道は路面がガタガタしており走りづらい。実際は違う道を使うことも多いが、

いい道もたくさんある。そのような道を市民の声として拾っていただけると、新たな道を使うことができるようになる。実際その道のほうが安全である上、とても楽しい。

つくば霞ヶ浦りんりんロードを走る場合、つくば市の定めた「つくば市霞ヶ浦りんりんロードアクセスルート」を走ることもあるが、つくば霞ヶ浦りんりんロードまで自動車で移動する人も多い。自転車を自動車に積んで行って、自転車でつくば霞ヶ浦りんりんロードを走る。現状、つくば霞ヶ浦りんりんロード沿いには駐車場がほとんどない。数少ない駐車場も満車になっていることも多々あり、使いづらい。

- 事務局：学園東大通りと学園西大通りの車道を自転車で走るということは現実的ではないと考える。

今回のつくば市のネットワーク計画においては自動車があまり走らない、自転車が快適に走ることができる道を選定したいと考えている。

委員は市内の道に詳しいと伺っているので、ご教示いただきたい。りんりんロードへ自動車で移動する方多いということも認識しており、先ほどお話をさせていただいた、旧筑波東中学校の自転車拠点整備についてはそれに資するものと考えている。

- 委員：矢羽根の件について、「つくば市霞ヶ浦りんりんロードアクセスルート」は、矢羽根等の表示が少ないため、わかりづらいところもある。また、ドライバーの認識が薄く、その辺も含めて整備していただきたい。

- 事務局：矢羽根が少ないという意見は市民の方からいただいている。改善策を考えていきたい。

ドライバーからわかりづらいという点についても、矢羽根だけではドライバーへの注意喚起を促すことができないので、看板等を設置する必要があるといった意見もいただいている。多面的な視点で取り組んでいきたい。

#### ・ (4) 今後のスケジュール (案)

- 事務局：今後のスケジュール (案) について説明

- 委員：新規計画のアイデア出しは来年ということで、今日新規計画に盛り込む重点施策をお伺いしたが、新計画の骨子は前委員で決めているのか。それともゼロから考える形か。

- 事務局：ゼロから考えていく。資料3-1で示した新計画に盛り込む重点施

策を盛り込みながらアイデアを出していただいで作り上げていく。

○委員：新しい計画の議論の方向性によっては、資料3-1に示されている内容について、重点的に実施するべきではない、ほかの施策が入るべき、といったこともあり得るという認識でよいか。

●事務局：計画に盛り込む施策の重要性の強弱の議論はあり得ると考えている。

○委員：重点施策については、市の取り組みをご紹介いただいたという認識で受け取る。

●事務局：市が進めていることは、計画に盛り込まないわけにはいかないと思うので、多少の濃淡があるとは思いますが、何らかの形で位置付けることを考えている。

○委員長：新計画の中で、現在つくば市が行っていること、これから始めること、短期的、中期的、長期的施策の位置づけ等はどのように考えるか。なかなか先は予測できないが、考えてほしい。

●事務局：次回、委員会で皆様からご意見をいただくに際してもつくば市のある程度の方針を示さないとアイデアというものも出てこないと考えているので、渡委員長がおっしゃる通り市が抱えるイメージとして短期中期長期の取り組み、今日説明したこれまでの取り組み、今後予定している取り組みを皆様にわかりやすい形で共有したうえでアイデアをいただきたいと考えている。次回委員会までに準備させていただく。

○委員長：今回の委員会の趣旨はつくば市の取り組みを説明していただくこと。すでに建設的な意見をいただいているが、これを取り入れていただいで計画に反映していきたい。

○委員：計画についての意見は次回以降。重点施策に関してはすでに進んでいること、これから詰めていくこともありそう。今日重点施策についてコメントしきれなかった部分については、メールさせていただきたい。

●事務局：今日、時間の都合上、発言することができなかった委員もいらっしゃると思うので、メールでお伝えいただければと思う。委員会の場以外でもご意見をいただければと思う。

・その他

●事務局：次回の委員会は12月以降を予定。詳細は決まり次第連絡する。

以上

様式第1号